



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

京都部



京都部 部報

2012-13年度 BULLETIN 第3号 2013. 7発行

京都部部長主題

『出あい』

『ふれあい』

『磨きあい』

西日本区理事方針主

国際会長主題

アジア地域会長主題

先頭に立ってワイズの光を輝かそうークラブで、地域で、国際社会で

“Let Y's men Light Shine before Others – In the club, in the community, in the world”

“Be the light of the world”

“世を照らす光となろう”

“Years bring wisdom”

“歳月はY'sをワイズ(賢者)にする”



「出あい」「ふれあい」「磨きあい」・・・出来ました！

京都部部長 船木 順司

6月16日(日)京都部第四回評議会、6月22日23日西日本区大会(名古屋)と京都部部長職の終わりを告げる事業や行事を無事終え、次期桂部長への引継ぎも概ね終了。ホッとすると同時に一年を振り返ってみました。直前部長、部長、この2年間の活動を通し自分自身のスキルアップをこれ程まで沢山出来とは思ってもいなかった事と同時に自身のワイズメンズクラブ理解の浅はかさを痛感した2年間でした。自クラブを通し、他クラブ、部、区を眺め、あたかも解ったかの様に振る舞っていた自分を恥ずかしく思い、ならば徹底的に自分の出来る事をやろうと決意し走り続けました。何処へでも足を運び皆様と話をさせて頂き、多くのクラブ事業に参加させて頂き、少しは京都部18クラブを理解する事が出来たと思っております。

全てのクラブが自クラブを愛し、クラブ繁栄の為に何を成すべきか考えておられます。何一つ間違いではなく正しいのだと思います。しかし、なかなか結果が出ないとお悩みのクラブも有ります。これは私の主観ですが、何か拘り過ぎが有るのでは、ワイズメンズクラブのメンバーに成り、楽しくメンバーと触れ合い交わり、そこから生まれるエネルギーこそがワイズ繁栄の原動力です。楽しく有意義で有れば自ずと人が集まる。と言う単純な理論ですが、難しく考え理論武装してしまうと、果たして楽しく有意義なクラブライフが過ごせるのでしょうか。私自身の自クラブ体験や京都部の皆様と触れ合う事で強く感じた事です。

京都部は強い部です。各クラブの行う事業は本当に素晴らしい、個の力は十分あります。これからは京都部の横の繋がりを深く持つ事でさらに力強い部に成ります。部の力が強ければ区、アジア、国際に影響を与えます。クラブだけに留まらず部や区を見据えた活動も必要ではないでしょうか。

西日本区各部に高齢化の波が押し寄せております。京都部もしかり、安穩としているとワイズメンズクラブ自体の危機が訪れるのではと肌で感じました。

京都部18クラブの個のエネルギーを部と言う器にまとめ、そのエネルギーを西日本区、アジア地域、国際へと皆様の力で放出して頂く事が今後の命題だと思います。高齢化が進むワイズメンズクラブの再生は京都部の頑張りには掛かっていると言っても過言ではございません。京都部の力で世界のワイズメンズクラブの繁栄を作り上げれば楽しい(夢の様な話ですが！)と部長職を通し強く思いました。

最後に、「出あい」「ふれあい」「磨きあい」を主題とし、主題通りの活動が出来たと思っております。直前部長、監事と京都部役員としてあと2年間携わる事でさらにスキルアップできる機会を与えて頂いた皆様に心より感謝すると共に、次期桂部長のプレーンとし私の経験がクラブや部繁栄の一助と成る事を願い部長最後の挨拶とさせて頂きます。楽しく有意義な時間を与えて頂き有難うございました。Y'sly

今期を振り返る



次期京都部部長

桂 厚子

(京都ウエストワイズメンズクラブ)

今第17期船木部長を筆頭に、キャビネット、役員の皆様にいろんな事をご指導いただき、役員一同ようやく18期を 漕ぎ出したところです。私はこの1年間役員として役員会に出席させていただき、任を果たしたとは言い難いですが、議案も審議してまいりました。今まで見えていなかった京都部全体の地図を見渡す機会をいただき、いろいろと道案内や先人のお話を聞かせていただきました。本当に未熟な私を一応のところ？まで引き上げていただき感謝です！京都部評議会では部旗引き渡しのセレモニー、西日本区の大会では、バッジの交換などみなさまの前で披露されて、気持ちは緊張と責任感と、とうとうここまで来てしまった感と、ないまぜでなんとか立っている気がします。

振り返れば第1回評議会が、リトセンの研修棟で行われ、YYYフォーラムもリトセンの食堂でたくさんのメンバーの溢れる中、ユースコンホケーションや、グローバルコミュニティスタディに、スポットを当てて理解を勧められました。リトセンを身近に利用して、行事が進められ、素晴らしいリーダーシップを発揮されました。船木部長はそばで見えていて、一度も不機嫌な顔を見せられませんでした。きめ細かしく豪胆に腹を決め、キャパシティの大きな部長でした。本当のリーダーとは？を勉強させていただきました。次期私も精一杯努力いたします。船に乗り込んで下さった京都部の皆様には、それぞれのクラブと京都部の発展と充実のため、三役、キャビネット、会長の力をお借りし、力強く漕ぎ進める所存でございます。改めてこの1年間みなさま本当に世話になりました！有難うございました！でも引き続きよろしくお願い申し上げます！



直前京都部部長

前 登

(京都みやびワイズメンズクラブ)

京都部役員の皆様、この1年の役職へのお努め誠にお疲れ様でした。京都部の役職はほとんどが、自クラブのためではなく、他のクラブや京都部全ワイズメンバー、YMCAのためのものです。そのため何かと(なぜこんなことをしなければならないのかというような)自己矛盾におちいった人もいるでしょう。そのとおりの一生懸命に努めれば務めるほど、そのことがより一層の自己研鑽につながるのです。“見返りのない奉仕”という言葉がありますが、この1年の経験は今後の皆様の行動基盤にきっと役にたつはずです。

役員の皆様は選ばれたメンバーでした。そしてあるいは各クラブの代表として今期の経験を京都部全メンバーや全クラブのために多いに役立ててくださったはずです。

この経験は自クラブの枠を乗り越えて、部全体を見渡す経験になったと思っております。“ワイズメンのために”その通りたいへん感謝です。

最後にこの経験を各クラブの後輩メンバーに是非お伝えください。皆様の経験をお話しいただくことがワイズの魅力をクラブメンバーに再度アピールする大きな手段の1つにもなるでしょう。



京都部監事

阪田 民明

(京都グローバルワイズメンズクラブ)

『出あい』『ふれあい』『磨きあい』

今期17期船木順司部長、部長標語を掲げての一年でした。船木部長、部役員の皆様、各クラブ会長様

ご苦労さまでした。皆様のご協力で、当初計画事業も予定通り終える事ができました。また、様々な事業を通じて多くの人々とも出会い、ふれあう事もでき、本当に楽しい一年でした。私事ですが、直前部長から4年最後の役職、監事が終わる事が出来ました。当初4年は長いと思っておりましたが、振り返りますと結構早くて、楽しく、充実した4年間でした。多くのメンバーに出会い、話し合い、色々のご指導頂いた事など大きな財産に成りました。知り合えた方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。有難う御座いました。

西日本区のトップを走る京都部であり続けるために、多くの事業を継続していくことは大変なことだと思います。そのために、次期桂部長様にはご苦労もあると思います。ですが、肩の力を抜いていただき、ご自身のカラーを存分に発揮して、桂部長らしさを出していただけたらと思います。

京都部役員は終わりますが、一人のメンバーとして、京都部の発展に微力ではありますが協力してまいります。色々とお難う御座いました。



京都部書記

新山 兼市

(京都トップスワイズメンズクラブ)

京都部の書記をさせていただいて、足掛け1年半、こんなに西日本区・京都部の方々また他クラブの方々と交流親睦させていただくのは初めての経験でした

あっという間でしたが、アツイ方々との新たな出会い・ご縁をたくさんいただきおかげさまで色々な事が、見え(見たくないことも)自己研鑽の日々でしたが自分自身をブラッシュアップでき今後の自分自身のヴィジョンが確信になる素晴らしい体験でした。

すべての役員・クラブ会長そして自クラブのみなさん・出逢ったたくさんの方々本当にありがとうございました感謝いたします。

今期を振り返る



京都部書記

河原 正浩

(京都トップスワイズメンズクラブ)

部役員として最後の原稿を書いています、準備期間を入れると1年と6ヶ月文字で見ると長いようですが、実際はものすごいスピードで過ぎて行きました。

1回目の評議会は異例の笠取りリトリートセンターでの開催、書類作成に追われていたのを懐かしく思い出します、2回目は部会当日の午前中、3回4回は三条YMCA地下マナホールにての評議会今期は何事も無く終われると思っていたのですが、アジア大会、京都部開催ホスト、西日本区事理輩出の急遽な西日本区からの依頼で船木部長とともども最後にもうひと踏ん張りでした。

役員会、評議会等の議事進行の難しさ、経験させて頂き始めてわかる事が多く何事もやってみないと分かりません、大変勉強になりました。

1年間各クラブ会長様、各事業主査様、関係者の皆様大変お世話になり有り難うございました。



京都部会計

河原 祥博

(京都トップスワイズメンズクラブ)

「感謝」「出会い」「自己研鑽」京都部の会計を終えて振り返ってみるとこの言葉が頭をよぎりました。当初はまるで自信も余裕もなくキャビネットの一員なのに何にも分かっていなく正直私以外の人に代わって頂いた方が京都部のためになるんじゃないか.....などなど色々と考えましたがその気持ちや考えを一掃したのは船木京都部部長の一言でした。「始めから出来る出来ないなど言わずにまずはやってみる事が大切や」「分からない事があるのは当たり前、初めてすることばかりなんだから。だから俺も三役のみんなもいるんやで、分からん事有れば皆で考えたらええねん」正直、楽になりました。その時は感じませんでしたがこれが「自己研鑽」だったのかなと今になって思います。

前回の部報にも書きましたがあっという間の京都部での活動を振り返り、沢山のワイズメンとの出会い、ふれあいを通して親睦を深められました、自己研鑽の場も与えて頂きました、凄い濃いワイズの時間を過ごせました。

これはひとえに出会えたワイズメンの皆様、YMCAの皆様のおかげと思い感謝いたします。本当にこの一年お世話になり有り難うございました。



京都部事務局長

加藤 信一

(京都トップスワイズメンズクラブ)

船木京都部部長のもとで事務局長をさせていただき、あっという間に一年が過ぎ去ってしまいました。各役員・各主査・各クラブ会長には、メールでの連絡ばかりでしたが皆様のお役に立てたでしょうか。一方通行の連絡ばかりで申し訳なく思います。なにぶん初めてのことばかりでそれをこなしていく日々でした。

各役員の皆様、各主査の皆様、各クラブ会長の皆様、本当に一年間御苦勞様でした。そして、一年間ありがとうございました。感謝いたします。



京都部YMCAサービス

・ユース事業主査

山田 英樹

(京都キャピタルワイズメンズクラブ)

期を終えるにあたり、力を余すことなく頑張れたのか？毎日が自問自答の日々であります。船木部長のもとで一年間YMCAサービス・ユース主査の業務に邁進して参りました。特に様々なユースとの関わりに焦点を当て重点的に取組んだ一年であったように思います。期首にユース組織立上を宣言し、約半年かけて各クラブへご説明し、様々なご意見を頂戴しながらゆっくり進めてまいりました。各所で熱い議論が白熱化することもございましたが、おかげさまで持ちまして大変多くの皆様からのご声援ご支援をいただき、ワイズとYMCAにつながる組織としてお披露目することとなりました。また、例年京都部で予算化しておりました京都YMCAのグローバルコミュニティスタディプログラムの支援金に関しまして、今回は応援する各クラブの意思を尊重するという、本来あるべき形にて実現することが出来ました。合わせましてマニラで開催されますアジアユースコンボケーションへも京都部より2名の派遣が実現いたします。ユース支援やYMCA支援の各プログラムに対して、クラブが支援すべきなのか否か？どのように関わっていくのか？などに関して話し合っただけの機会を設けることが出来た事は、理解を深める上でも大きな出来事であったのではないかと考えています。しかし、ユース支援に関しましては単年度で終わるはずもありません。ユース組織運営委員会というオープンな委員会でもこれからも関わりを深めて参りたいと思います。皆さまも是非遊びにいらしてください。この一年間、稚拙でやや性急な運営であったにもかかわらず、YMCAサービスの様々な事業、とりわけユース支援プログラムに京都部のワイズメンズクラブの皆さま、心熱きワイズメンにご支援賜りました事に心よりの御礼を申し上げます。

今期を振り返る



京都部地域奉仕・環境事業主査

坂下 昌史

(京都めいぶるワイズメンズクラブ)

「出会い」「ふれあい」「磨きあい」を主題に、「小さな努力大きな未来」を活動方針にスタートした今期の地域奉仕・環境事業主査を部長始め京都部の役員の皆さま、各クラブの会長・メンバーのご協力により、無事1年間終えられたことに感謝と御礼を申し上げます。

京都部各クラブのワイズメンの皆様には、8月に開催いたしました地域奉仕・環境事業懇談会では大変多くの方にお集まり頂きました。これを皮切りに10月には「第2回AIDS文化フォーラムin京都」のサポートとして参加させて頂き、市民・学生・関係機関等2日間で延べ1,000人を超える方が来場になり、部としてはみやびクラブの全面協力の下、森乃福郎氏より「福祉落語」を講演していただきました。11月にはワイズデーでの「美しい祇園祭をつくる会」さんの展示や、西日本区5ヵ年計画のロールバックマリアの展示、コンドームの無料配布もさせて頂きました。ワイズメンだけではなく多くの方と共に、ふれ合う事業に参加とご協力頂き大変感謝いたしております。2月24日に自身所属のクラブで京都めいぶるクラブ様の皆様にお力を借り、2期連続の京都部チャリティーボウリング大会のホストとして頂き多くの方にご参加して頂き無事成功裏に終えることができました。京都部の皆様と多くの事業でのふれあう機会を得た事が、地域奉仕・環境主査をさせて頂き、大変な嬉しさと、喜びに感謝させていただきました。これを経験に更なる我がクラブ発展のため尽力していきたいと思っております。

京都部の各クラブの皆さま本当にありがとうございました。

最後に地域奉仕・環境事業主査を拝命するにあたり、陰で支えて頂きました、我がめいぶるクラブメンバーに感謝申し上げます。



京都部EMC事業主査

爲國 光俊

(京都パレスワイズメンズクラブ)

人に個性があるように京都部18の各クラブも雰囲気や個性はまちまちで、例会をとっても、和気藹々な雰囲気作りをされているクラブや、規律を重んじて緊張感をもって運営されているクラブ、EMCに対する取り組みもノンドロップに工夫をされて同好会や親睦会をおこなわれているクラブ、事業活動に重きを置かれて常に全員参加を目指しながら団結力を高められているクラブ、また、メンバー増強をクラブの柱に置いて積極的に活動されているクラブと、自クラブの状況や特色に合わせて、それぞれに工夫されながら、うまく活動されているのだということを感じ、多くの学びを得た1年間でした。

そのなかで京都部は500名体制を維持し、600名を目指すとの目標を持って、各クラブ会長やEMC委員長様のご理解をいただきながらスタートを切らせていただきました。京都部の各クラブにおかれましては、E・M・C

の「M(メンバーシップ)=メンバー間の交流・親睦」や「C(コンゼーション)=クラブの健全な維持・意識向上」を確実に実践されています。今期は、その底力をベースにして会員増強のための新たな方法を模索していこうという思いで、7月にEMC懇談会、11月にEMC懇親会を開催してクラブ間の情報交換の場を提供いたしました。事前オリエンテーションを実施して入会につなげている事例や、EMC例会で多くの入会候補者を集める事例、若いメンバーが入会者をスポンサーするサイクルを確立されている事例と、多くの新たな試みが提案されました。京都部目標としての500名維持は達成できなかったのは、私の不徳の致すところでございますが、次期につなげる一途となればと願っています。

1年間、多くの方々と出会える機会を与えてくださったことに感謝し、ご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



京都部ファンド事業主査

白濱 廣史

(京都エイブルワイズメンズクラブ)

まず初めに、今期一年間は京都部の役員さまを始め、京都部の全てのワイズメンの皆様にご感謝を申し上げます。と思います、有り難う御座いました。

今期のファンドBF事業は、BF・EF・JWFなど全てのファンド事業をワイズメンの全ての皆様に寄りよく理解をして頂くのを重点的にやってみりました、二度の事業懇談会には西日本区の岡野主任に参加して頂いて、BF・EF・JWFに付いて詳しく説明をして頂き、特にBFに付きましては京都部の全てのクラブが100パーセント達成して頂くように努めて参ったつもりですが、まだまだ至らない所が多々有ったのでは無いかと反省をしております、特に、BF代表に付きましては、ここ数年に置きましては京都部からのBF代表の申込みが有りませんでしたので今期こそはと思っていたのですが、残念ながら私の力不足で今期も代表への申込みが無いと言う結果に成ってしまい残念に思う次第です、BF代表の件に付きましては来期にお任せしたいと思います、

又、今期はBFの使用済み切手を一月に開催しました懇談会に持って来て頂き12クラブで31.614kgにも成りました、有り難う御座いました、

一年が過ぎてから思う事なんですが、あれもした方が、これもして置けばと今になっては仕方のない事なのですが、色々と考えさせられますし、又、勉強をさせて頂きました、本当に有り難う御座いました。

今期を振り返る



京都部交流事業主査

高田 敏尚

(京都ワイズメンズクラブ)

今期うれしいことは、DBC(国内兄弟クラブ)の締結が4クラブもあったことです。2010年にチャーター(設立)されたZEROクラブは初めてのDBCですし、東稜クラブも久しく待たれた初のDBCでした。グローバルクラブは設立20周年を機会に、京都クラブは以前から交流のあった三島クラブと、それぞれ2つめのDBC締結です。京都クラブは3年越しの締結で、お互いの会長どうしのクラブ訪問が幾度と繰り返されました。締結直前には、三島の特産品であるわさび漬けをファンド商品にしようとして、自家用車でとりに行きました。他のクラブもこのような地味なはたらきの積み重ねの成果としてのDBCでしょう。このように国内の他クラブとの交流を深め、さらにワイズメンズクラブは国際組織ですからIBC(国際兄弟クラブ)との交流にも努めてきました。

少し話はかわりますが、私たちワイズメンは各地で活発に交流をしています。ですが、YMCAが対象としている若者はどうでしょうか。最近、気になる新聞記事が目にとまりました。高校生の6割が「留学したくない」と答えているのです。その理由として約6割「言葉の壁」、約4割が「経済的に厳しい」、さらに「外国での生活や友達関係に不安」と続きます。「内向きな若者」といわれますがまさにそのとおりです。若者を育てるのがYMCAの使命なら、私たちおとなが何らかのアクションを起こすべきでしょう。クラブ間の交流という事業を担当しながらこんなことを考えています。



京都部広報事業主査

三科 仁昭

(京都東稜ワイズメンズクラブ)

- * 京都部HPの運用開始し事業報告・情報の提供をWEBで内外に発信 7月1日～運用開始
- * PR委員会の発足しHPの作成や組織的な広報活動を推進するためのPR集団として取り組みました。5月～
- * 京都部FBの立ち上げ 現状 130名の参加者が登録されています。
- * 広報事業懇談会を9月14日開催し、各クラブ様の広報活動の確認とWEBでの広報活動の重要性が確認できました。
- * AIDS文化フォーラムへの参加
10月6・7日同志社大学にて「ロールバックマラリア」の展示と「森乃福朗様の福祉落語」(みやびクラブ様協賛)でワイズメンズクラブのアピール。
- * ZEROクラブ様GCS支援イベントへの参加し北山陶板の庭にてワイズクラブのアピール。(10月13日)
- * ワイズデーでのワイズメンズクラブのアピール
11月3日YMCA学園祭と同時開催でワイズデーの開催。
- 「ロールバックマラリア」「美しい祇園祭りを作る会」「高島寿周様の高島易」等各クラブ様のご協力で盛況に終わりました

* 11月9日IT交流会をトゥービークラブ伊藤ワイズのご指導のもと「FBの初心者講習会」を開催し、35名のご参加を頂きました。

* ワイズキャッチコピーの募集

12月～1月の期間にて案内し、2月のボウリング大会にて京都部賞をトゥービークラブ様へ贈呈されました。

* 2月17日全国車イス駅伝大会への参加し、国際会館～西京極までの大会参加者への補助

* YMCA中井貴恵さんの読み聞かせの会への参加
4月13日 京都ノートルダム大学



京都部メネット事業主査

渡部 美代子

(京都トップスワイズメンズクラブ)

メネット主査のお役を受け早くも一年になります、受けたものの私の中で一つ心配ごとがありました、手足の痛みと体のトラブルです。出来る事なら“無理をせず”“背伸びせず”自分に合った歩幅でスタートしたのですが、主査の一大事業の京都部合同メネット会開催は私の肩に重く圧し掛かります。準備に準備を重ね毎日が不安で眠れない日が…そんな心配をよそに京都部内外から多くのメン・メネット様のご参加を賜りメネット部会を無事終えることが出来ました、いろいろお力添え頂きました皆様に改めて御礼申し上げます。

又 西日本区国内プロジェクト「こころのケア」協力に付きましてはびわこ部へ二人参加させて頂き講習を受けました、東日本大震災支援事業であれば京都部は手段は違っても進む方向 目指す目的は同じです、支援のための活動やイベントには今までもこれからも進んで参加協力していきます 主旨ご理解頂ければ幸いです・

2回目のメネット懇親会も五月に開催し 京都キャピタルクラブ柳早知子次期メネット主査の紹介と引き継ぎを行い 今期すべての事業を終了してほっと一息ついていきます。

この一年活動を通して メネット主査だからこそ沢山の人の出会いがあり 昨年は東山荘にて真冬の紅富士を見るチャンスを与えて頂き 自然の雄大さに感動した事 昨日のように思い出します、良いご縁に巡り合い 充実した一年でした。後は6月の西日本区大会を楽しみにしています。

今期を振り返る



京都ワイズメンズクラブ

会長 杉本 仁郎

早いもので、今期も終わりを迎える事が出来ました。会長標語の「不易流行」は、古い事も大事にしながら、新しい事(流行)にも目を向けていきたいと思います。新しい事にどれだけ目を向けられたかは疑問ですが、無事に1年間を送れました事、三役・事業委員長・メンバーに感謝しています。今期は新たにファンド事業において、YBC(YMCAブラザーファンド)を創設致しました。これは、京都YMCAにて、職員・リーダー等が、研修・出張や海外からYMCA関係者を招待する時等に使う資金です。クラブ創立65周年を記念して¥65万円でスタートし毎年一定額を積み立てる事になりました。又 3期先に京都部長を自クラブより輩出するべく立候補者を出す事をメンバー全員の総意で決定し部長輩出準備委員会を立ち上げ、立候補予定者を決定する事が出来ました。

IBCではメンバー8名で南大邱クラブ例会に参加し親睦と交流を深める事が出来ました。DBCにおいては東日本区の三島クラブとDBC締結を行いました。地域奉仕では、地元の京野菜についての取り組みを始めるべく勉強会等をスタートさせました。EMC事業では、前期より始めたお楽しみ会を毎月1回行い、メンバー間の親睦を深めることが出来ました。ブリテンは毎月の月初発行と紙面充実を図りました。広報事業では、新たにTVカフェをスタートし毎月 三条YMCAより様々なテーマを発信し、毎例会の様子はインターネット配信を行っています。Yサ事業に関しては、毎年行っている、たくさんの定番事業を全て予定通り行う事が出来ました。今期一年間ありがとうございました。



福知山ワイズメンズクラブ

会長 小林 稔

「ワイズライフを人生の糧に」の主題で今期スタートをし、京都部部長、役員の皆様を始めメンバーの温かいご協力を賜り会長の重責を無事に務めさせていただき感謝申し上げます。

下半期の事業活動は1月6日(日)青少年健全育成事業の一環として第36回小中学生席上書き初め大会を開催し朝早くから寒さ厳しいなか多数の参加がありました。この大会は家庭で清書した作品を提出するのではなく、他に類を見ない書き初め大会で会場内において各学年ごとに課題を与えて時間内に清書を提出する極めて厳しく、各方面からも高い評価と注目を集めています。

4月28日(日)には第46回福知山市子ども大会が三段池体育館一帯で39団体が協力しあって開催され「竹細工」教室を催し、家族連れや各町内会の子どもの会など多くの人出で賑わい、なかでも竹細工の竹とんぼ、竹うま、紙てっぽうの指導には子ども達は初めての体験と工作に喜び大人の方は昔懐かしいと童心にかえって制作に励んで居られました。体育館内ではYMCAブッククラブが「えほんのひろば」にも親子共々「えほん」の読み聞かせに夢中になりほほえましい光景を見る事ができ、いずれも人気プログラムでした。

月例会には毎月素晴らしいゲストに恵まれ2月例会のゲストにケアアドバイザーをお迎えし高齢化社会のなかで、これからの人生楽しく幸せに過ごしていくのが良いか、1人ひとり質問形式で進行され、若さを保つには自室に閉じこもらず多くの人と出会いを持って会話をし、そして「生涯学習」「健康」「ボランティア」を積極的に行うのが生き甲斐を感じる秘訣と教わり、ワイズ活動を継続していく事が、心豊かな人生に繋がると感じました。

最後になりましたが、この一年間皆様に支えられ多くの出会いからいろいろと学ぶ事が出来実りある今期に感謝し、厚く御礼申し上げます。



今期を振り返る



京都パレスワイズメンズクラブ

会長 川勝 政男

初めに船木京都部部長並びに京都部の各役員各位、そして 各会長及びメンバーに於きましてお礼を申し上げます。まずは、Yサ・ユース事業では、リトリートセンター豪雨の為に緊急復旧ワークで、最初に考えた事は誰一人怪我人を出してはいけない、指示を出す気持ちを躊躇したのを思い出します。そして、パレスクラブとして怪我人を出すこともなく、復旧ワークに貢献できた事に満足をしています。地域奉仕・環境事業は、毎年行っている事ですが、和敬学園生の将来の為に職場探しの参考になればとの思いから、パレスクラブの関係者の職場訪問をさせていただきました。最初は、彼らは緊張していましたが、最後の事業所訪問を終えた後、彼らの少し大人びたお礼の言葉を聞いた時は、涙ぐんでいる自分がいたのを思い出します。

EMC事業では、今期は、新入会員を入れる事で良い実績を上げる事が出来ませんでした。緊急のリトワークでは、各委員会を超えてメンバーを集めていただき、一緒に事業をやる事で素晴らしい親睦を得た事は、最高の収穫ではなかったでしょうか。交流事業は、IBC香港九龍クラブ訪問の英語での事前打ち合わせから交流報告書の作成に工夫をこらしてくれました。またファンド事業は、事業資金を集める事だけではなく、楽しくて親睦を深めるファンド事業をされました。広報事業は、IBCクラブに少しでもパレスクラブを理解していただける様にと、今までにない英語によるブリテン制作を取り組み致しました。ドライバー事業は、素晴らしい会場で1000回例会を準備してくれまして、パレスクラブの1ページが作る事ができました。

この様にパレスメンバーの協力により無事に会長を終えることができた事に感謝・感謝・感謝です。



京都ウエストワイズメンズクラブ

会長 市橋 清太郎

第33期のこの一年、次期に京都部長を排出するにあたり、活力あるクラブ作りを心がけてまいりました。例会運営は常にEMC委員会と連携し、ゲストスピーカーやパフォーマーだけに頼らないゲストの誘致と、第一にメンバー自身が楽しむことをめざし、それを実行できたと自負しています。EMC例会と銘打った例会を前期・後期それぞれ1回ずつ行い、そこにご参加頂いたゲストの内、3名にご入会頂くことができました。また地道な活動も成果を挙げ、今期目標のメンバー数30名を達成できました。

例年のYMCA行事のサポートに加え、新たに広報・地域奉仕活動の一環として、京都府からの依頼で京都府婚活支援イベントの企画・運営サポートに参加しました。京都府下に配布・掲示された告知のビラ・ポスターなどにクラブ名が明記されたことで、府民・京都府に他する認知度アップに寄与できました。

交流事業ではDBCのヘキサゴン西連合(クラブ名に「西」の付く6クラブで構成)で昨年度に引き続き、仙台YMCA幼稚園の東日本大震災の被災園児2名の学費を全額まかなう奨学金支援を継続する他、交流イベントへの参加や、西日本区大会時に交流懇親会を行っています。

IBC締結先の台北ダウントウンクラブが次期部長を輩出されるにあたり、この6月に台北で行われる就任式に、特にまだ一度も訪問したことがない若いメンバーを中心に訪問することになり、益々、親密な交流になることを期待しています。

地域奉仕・環境事業では西山竹林再生プロジェクトが三年目を迎え、目に見える形で整備が進み、筍掘りのイベントでは地域住民も参加しての竹製の食器で食す、エコバーベキュー大会を催すことができました。



今期を振り返る



京都めいぷるワイズメンズクラブ

会長 馬場 正孝

2月24日「京都部ボウリング大会」が、しょうざんボウルにおいて開催されました。昨年に引き続き、めいぷるクラブがホストをさせていただきました。今期坂下ワイズが、京都部地域奉仕の主査をさせていただいており、めいぷるメンバー一致団結して、取り組みました。

当日、欠席・あらたな追加等おられレーンの変更や名前の変更に追われましたが、何とか予定時間通りに終えることができました。

また、船木部長をはじめ笠井地域奉仕主任および京都部主査の方々からの豪華賞品ありがとうございました。この場をおかりいたしまして、お礼申し上げます。

又4月7日は、市民センター（西陣会）の「さくら祭り」で、めいぷる恒例の焼きそば販売のお手伝いをいたしました。あいにくの雨で、船岡山公園では開催できず、センター内でおこなわれました。たくさんの方が来館され、にぎやかな一日でした。

18年ぶりに2回目の会長をさせていただき、本当に楽しく「アッ」というまの一年でした。ありがとうございました。



京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 山口 雅也

今期を振り返ると、大きな流れは山田英樹Yサ主査をクラブから送り出した年でもあり、YMCAの若者であるリーダーを計8回の例会にのべ16名をお招きし、卒業祝いを例会扱いとして参加したことが取り上げられます。メンバーのご理解を何とかとりつづけての開催となりました。8月、リトセンの災害による復旧ワークでは、キャピタルのエキスパートによる本格的な復旧活動により、早期の夏期プログラムの再開に大きく貢献できたのではないかと思います。また、お祝いの多い一年でもありました。2名の若手メンバーにお子様が誕生し、また2名のベテランメンバーのお孫さんも誕生。ご子息がご結婚されたワイズも2名おられました。金婚式を迎えられた方が1組。還暦を迎えられたメンバーも2名でした。各世代においてバランス良くアクティブなメンバー構成になっている一つのバロメーターであると思いました。各クラブの周年例会も多い年で、そんな他クラブの行事に参加していただける新しいメンバーも少し増えました。反面として数年ぶりの退会者が出たり、全員が揃う例会は年間通して一度もありませんでした。全体を通して例年と変わりなくメンバー間の結びつきが強く、親睦する機会がとて多いクラブであると思います。その一つとして、今期は数年ぶりに「お誕生日会」が復活し、年間5回で全メンバーのお誕生日をお祝いし、例会とは違った交流の場を持つことができました。DBCでは4月のお花見例会に東京クラブのメンバーをお招きし、合同例会を持ちました。毎年1度行う行事ですが継続的に交流することで、締結後20年が経ちますが若手のメンバーも顔見知りの方ができるなどとても良い関係が築けていると感じました。期末近くの6月に2名の新入会員が入会され、チャーター時の41名の会員数に復活できたのも喜ばしい出来事でした。次期は30周年を迎えます。益々楽しくなるキャピタルクラブが続くことでしょう。



今期を振り返る



京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 小野 敏明

ちょうど昨年の今頃は、今季の資料づくりに追われていた事を思い出します。【クラブライフをおもしろく】を主題に掲げ、楽しみと不安と期待が混在した複雑な心持ちであったと記憶しています。また、前期に盛大な25周年例会を終え燃え尽きそうな雰囲気漂う中、入会6年目の会長職ではありましたが、会長選考委員長の【人が役を選ぶのではない、役が人を選ぶ】とのお言葉に感銘し引き受けた次第です。

期が始まってからは【燃え尽き防止】のため月2回のホテルでのフォーマルな例会を基礎としてクラブ内のメンバーシップを図り、屋外でのアンフォーマルなイベントに出来る限り参加して他クラブのメンバーを交えた交流も図るようなクラブ運営に努めました。結果、例会に各イベントへの参加など個々メンバーには時間的・金銭的な負担をかけましたが、その負担の甲斐あって今季3名の新メンバーに恵まれたと確信しております。

また、今季から本格的に運用しているフェイスブックも威力を発揮。縦横無尽にクラブの活動が広報でき、メンバー間の交流はもちろん、他クラブや京都部の情報など今までにはない形での情報交換や交流が始まっています。今後、クラブの広報や交流には不可欠なツールとなる事は間違いなさそうです。

最後に、プリンスクラブ25周年記念事業の【サバエ教育キャンプ場シャワールーム新築工事】が現在進行中です。【いつになったらできるのか？】【屋根がないとの噂は本当か？】などの叱咤激励を受けながら、5月初旬に着工し7月初旬には竣工する【予定！？】です。ご心配には及びません。久保田主事のご希望を100%叶えた素晴らしいシャワールームが完成します(もちろん屋根もあります)ので、サバエへお越しの際はぜひご利用ください。

慣性の法則に従えば、始めは大きな力が必要です。しかし一度転がり始めれば、あとはそれほどの力を必要とせず転がり続けてくれた一年であったと認識しています。【クラブライフをおもしろく】との主題を掲げた一年。期が始まってすぐに副会長が【名古屋転勤⇒広義会員へ】などのアクシデントもありましたが、一番【おもしろかった】のはこの私であることは間違いありません。



京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 大槻 信二

25年ぶりの会長職に自ら手を挙げてから早や1年が過ぎ去ろうとしています。メンバー数が少ない事から総てのメンバーが会長経験者となり2度目の会長職を引き受けなくてはならない事を余儀なくさせられているセンチュリークラブですが、今期25周年を迎えるに当たり、2名のみとなったチャーターメンバーであり、又、第2代会長と最も古い会長経験者であることはもちろんですが、今のセンチュリークラブであれば、立派に25周年の会を開催する事が出来る、との確信が私自身にあったから引き受けたものでした。京都の他クラブの様な大きな会は開催することは出来ませんが、自分たちの身の丈にあった記念例会をというコンセンサスの下、メンバー・メネットが一丸となって取り組んで頂きました。実行委員長の謝辞にもありましたが、「1クラブ4名の登録・・・」と本当に高飛車とも言えるご案内だったにも関わらず、会場を満席にして頂いたワイズの僚友にも感謝が尽きません。又、20数年前にセンチュリークラブを去った元メンバーも参加して頂いた事に感激も致しました。

YMCAサービスはもちろんですが、地域奉仕の事業においては「継続こそ力なり」と、設立2年目から始めた鷹峯の「白川学園」のサポートにおいて、今期も夏祭りの屋台出店・焼き芋会の実施等々を続けて実施することが出来ました。少人数ではありますが、センチュリークラブにはメネット会という力強い応援団が存在する事は、京都部の多くのメンバーがご存知の通りですが、今期も他クラブから多くのメネットさん達を迎え、メネット手作りのメネット例会を開催してくれました。さあ、これから・・・のセンチュリークラブです。



今期を振り返る



京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 中村 誠司

26期会長に任命頂いてからは25周年の節目を迎えるという、そんなクラブの会長であるというプレッシャーから始まりました。早々に周年例会の日程を決め遑って準備を開始いたしましたが10月という期が始まって間もない時期を設定しましたのでとても長い活動期間となりました。約一年の周年記念例会への準備期間はそれぞれが気分を高揚させどんどんメンバーシップを深める時間となりました。メンバーの約三分の一を招集したダンスパフォーマンスは正に汗と涙の結晶と言っても過言ではありませんでした。三条YMCAマナホールに通い詰めた日々はメンバー同士の意識の共有となり深い信頼関係を築いてくれました。そしてその頑張りを察知したのかダンサー以外のメンバーも舞台を成功させようと式典のプログラムや裏方として尽力しウイングクラブ全メンバーの力が結集した結果があのだ25周年例会を大成功へと導いたのだと実感しております。

メンバー同士が親睦を深め信頼出来る仲間と一緒に活動することがクラブの活力になり大きなエネルギーを生むと信じ「もっともっと好きになろう『私のウイングクラブ』』という会長標語にさせていただきましたが、標語通りになったのは他ならぬ私自身かも知れません。メンバーから沢山の愛を頂きました。

また一年間に6人もの新入会員を迎えたことはウイングクラブの勢いであり、益々の発展への象徴となりました。こんなにも充実した時間と経験をさせて頂いた事をとてもうれしく感じております。

最後になりましたがご指導ご鞭撻賜りました全ての方々に心よりお礼申し上げます。



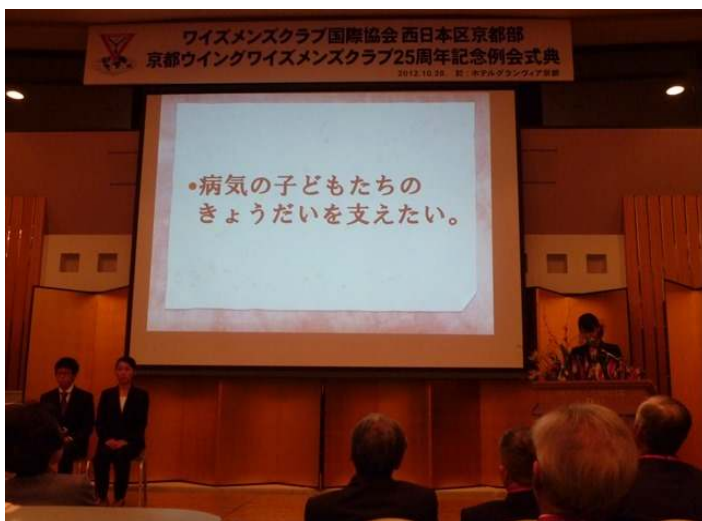
京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 坂井 昇

今期も、いよいよラストスパートの時期となってきました。残るは西日本区大会と、引き継ぎ例会のみとなり、ホッとするとともに、いくらか寂しさも心の片隅にあります。さて今年の行事も何とかクラブのメンバーの多大なる協力のもと無事に消化することが出来、感謝・感謝の思いです。

何といたっても今期は各クラブの周年が多く、わがクラブも25周年を迎えどのような周年記念例会を開催するかがメインのテーマとして今期が始まりました。山中実行委員長を中心に少ないメンバーが確実に自分の持ち場を完全掌握し、見事なまでの大会にしてくれたのには本当に会長として誇りにおもいます。これほど大会に関して何もなかった会長は過去においてもあり得なかったであろうと考えられるほど私は何もなかったです。他のクラブの周年記念例会にもほとんど参加させていただきました、それぞれの想いで企画され素晴らしい大会ばかりでした。京都在京のワイズの力を再度確認した思いです。そして今期は大会に関連してDBC・IBCも活発に行ったことが特例でした。

IBCは隔年ごとに台湾・大橋クラブと行き来することを20年間続けてしておりますが今年は洛中25周年・大橋30周年ということで互いに代表に来ていただき、こちらにも参加させていただきました。博多オーシャンクラブとも15年の付き合いを確認し、プライベートでも友人付き合いをする仲間です。われわれ洛中メンバーは少ないながら、長年のワイズライフを共有し全てのメンバーが出来る限りの努力を結集する精神を持っております。そして新メンバーも微々たる歩ですが、増加しております。次年度は西村新会長のもと、洛中に新たな歴史を創ろうとしております。今期は皆様に大変なご迷惑をかけた会長でしたが、ほんとうにありがとうございました。



今期を振り返る



京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 大山 裕巳

2012年3月 大阪のチサンホテルでの主査会長研修会からスタートした会長職も最終の6月となりました。残された年間活動もクラブの例会である引継例会、そして名古屋での第16回西日本区大会参加のみとなりました。

早いもので、会長職は2回目でもあったかもしれませんがあっと思った1年間が過ぎ様としています。「さあ！つぎのつぎのページに向かって以心伝心、クラブ主題の基で23期スタートしたクラブも当初の活動予定通りには活動出来ませんでしたが、クラブ最高齢の我がままな会長をクラブ員等が助けてくれたおかげで苦労もなく、たくさんの感激、感動を会長職に与えてくれたことに感謝しています。

「Yサ・ユース事業」にはサバエ開設に参加出来ませんでしたが、他の作業奉仕活動や協賛金や支援金には少数メンバーでもありますが協力出来たと思っています。

「地域奉仕環境事業」にはロールバックマリアの又地元のNPO法人 生活介護施設のこもれびさんのヤマヤマフェスタ、昨年京都府南部地方大雨災害にも災害ボランティアセンターに協力、宇治市の福祉祭にも例会として参加しました。又環境事業として牛乳パック、缶のプルトップ集め持つ続けて行っています。

「EMC事業」では24才の若い江面（えづら）智明氏が入会、新入会員を獲得することが出来、クラブも活性化にはげみをつけたいと思っています。青年会員獲得を続けていきます。

「ファンド・BF事業」では今期、クラブより白濱主査が京都部のキャビネットで活躍してくれています。BF使用済み切手もひさしぶりに少量でしたが集める事が出来ました。BF・EFにも協力出来ました。

「交流事業」では、IBCとして韓国の中部クラブと5月14日～17日 宇治、京都に6人が入洛、新緑の美しい時期でしたのでとても喜んでいただきました。言葉の問題ですが、今回は良い通訳が2人も確保出来たおかげでコミュニケーションもうまくゆきました。

「広報事業」では地域のFMうじ(88.8)を通して京都南部地域で活動している京都エイブルワイズメンズクラブのPRをおねがいしております。対外的アピールに役立てたらワイズ活動も知名度も少しは解ってもらえるかもしれません。エイブルも2015年には25周年をむかえます。



京都グローバルワイズメンズクラブ

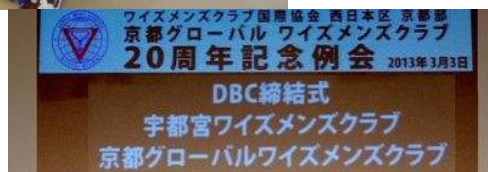
会長 松谷 隆史

会長主題に【奉仕の原点】メンバーと共に奉仕活動の本質を考え・行動しようグローバルクラブの「グローバル宣言」「世界の子供達に笑顔をも！」を原点としクラブメンバーと共に活動し、1年が終わりました。今期は、クラブ設立20周年を、2013年3月3日に、260数名のワイズメンに多くのご参加頂き、本当に感謝申し上げます。20周年記念例会での記念アクトの一つ「東北の子供達に笑顔」を報告させていただきました。のびる幼稚園の支援活動！2月の初めに、被災地にも行きました。津波の爪痕を、目の前にしたときには、大変悲しい気持ちになりましたが、現在、仮設幼稚園で学んでいる、のびる幼稚園の園児達と出会った時の、子供達の明るさには、感動いたしました。のびる幼稚園も、1ヶ月前より、幼稚園の工事も始まったと仙台YMCA様よりご報告頂き、来年2月完成を目標と聞いております。

今後も、よい支援が出来るよう頑張っております。もう一つは、DBC締結です。東日本区の宇都宮ワイズメンズクラブとの3月3日の締結式も記念例会でご披露させていただきました。締結後も、クラブのファンド交換等も行い、東日本区大会での交流もさせて頂きました。今後も、IBC台中エバークラブDBC熊本クラブ・宇都宮クラブとの交流に励みたいと思います。そして、5月には、宇治リトリートセンターでのふれ合い例会では、サポート先の修光学園様を迎え、総勢150名の野外でのふれ合い例会焼肉・焼そばを食べ、レクレーションも楽しみました。

最後に、三役・各事業委員長・そしてクラブのメンバーの皆様のお力・ご協力頂き、全事業も無事に終える事ができましたことを感謝いたします。

本当に1年間有難うございました。



今期を振り返る



京都みやびワイズメンズクラブ

会長 森 泰弘

下半期は、みやびワイズメンズクラブ20周年を迎える期であり、3月より周年事業と位置付けYMCA事業として第10回発達障がい児理解セミナー共催、第1回ユニカル大会主催、周年記念例会事業として記念例会を仙台YMCAの協力の下、仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブのコーディネートで東北視察を敢行でき、記念アクトを仙台YMCAへ寄贈を持って無事周年事業を終了できました。

さて、周年3事業の取り組みは、まず第10回発達障がい児理解セミナーは、今回で10年目を迎え、今回は、発達障がいの子どもを社会とつなぐために「発達障がい児の思春期と性」と題し、講演を頂きました。次に、第1回ユニカル大会は、昨年京都部部会で周年記念寄贈した1セットと新たに差額負担で合計2セットをYMCAと共催で開催しました。最後に、東北視察は、南三陸町から浪江町(原発から7キロ付近)まで被災地の現状をワイズの解説を交え、視察しました。山元町では、多くのワイズにボランティアで復興途中のいちご農家で、過分ないちごのお土産を戴きました。出来れば、25周年には、再度同じ順路で訪問したいと思います。



京都トップスワイズメンズクラブ

会長 牧野 篤文

私たちの京都トップスワイズメンズクラブは、今期船木京都部部長を排出するという特別な期になりました。そんな中、会長主題を「トップスの結集」として、活動方針としては、個々の人間力を高めメンバーの力を一つのベクトルに結集させ・・・

- ・京都部部会を成功させる。
- ・新規メンバーを増員させトップスの輪を更に大きくする。
- ・新たなリーダーを育成する。
- ・「学ぶ機会」を設けて更に魅力あるクラブにする。
- ・親睦を深めメンバーの絆を更に強くしクラブと共に京都YMCAの発展のため努力する。

と、しました。

まず、京都部部会はホストとして我々トップスクラブは、新入メンバーも含めて協力して、京都部の皆様や関係各位の皆様にも少しでも喜んで頂けるような部会を目指しメンバー丸となり満足のいく京都部部会が開催できたと思います。

新規メンバーの獲得ですが、目標は純増10名でしたが、5名入会の1名退会で純増4名に止まりました。しかしトップスクラブ歴代から培われていた「個々の人間力とその輪」は、今期においても確実に大きく成長したと思います。

新たなリーダーの育成としては、「役」が人を育てると考え、内部的には新委員長として4名、新三役として2名選任しました。外部的には京都部のキャビネットとして4名、主査として1名、西日本区事業主任として1名を排出し、それぞれの職務を精通する事で、結果的にキャリアに応じたリーダーの育成ができました。

学ぶ機会、メンバー親睦としては、新たにメンバーミーティングと題してEMC委員会、交流委員会が中心になり、ベテランメンバーがキャリアの浅いメンバーに対して、和気藹々とした雰囲気の中でYMCAやクラブに対して質疑応答する機会を設けて、学びと親睦が同時に図れてメンバー間の絆がより強固になったと思います。

最後にこの一年をふり振り返り、「トップスの結集」により全メンバーの皆さんの協力のお陰で、我々トップスクラブは、クラブとしてまた一段成長できたと思います。全メンバーの皆さんに心から感謝申し上げます。



今期を振り返る



京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 荒谷 和可子

* 合同新年例会・・・ZEROクラブとの新年合同例会を開催しました。お互いホームを離れて京都市内にある隠れ家的な場所での合同例会でした。異国に来た様な神秘的で魅惑的な開催場所で、とても楽しいヒトキを過ごせました。素敵な交流でした。

* ブリテン広報事業でのワイズキャッチコピー提出で、賞を戴きました。メンバー全員で沢山のコピーを考えて厳選して提出した結果が嬉しかったです。

* ファミリー例会・・・4月にファミリー例会を開催しました。開催場所が、入会して間がない青木ワイズのうちのガレージでの開催でした。生憎、数日前の雨で桜は散っていましたが、青木メネットの温かいおもてなしと、青木コメットの可愛いムードメーカーぶりで、青木ワイズ宅に初めてお邪魔したメンバー、メネットそしてコメットまで、楽しいヒトキを過ごすことが出来ました。素敵なファミリー例会でした。

* 小倉山百人一集の会・穂垣補修作業・・・CS事業として新しい事業に取り組もうと齋藤委員長中心で、行った事業です。野々宮神社の竹林から大河内山荘に至る場所の穂垣の補修、猪除け柵の補修、竹林の整備などの作業です。小倉山百人一集の会の方には、例会にもお越し頂きお話下さいました。こうしたあまり目に見えない作業のお蔭で、素晴らしい竹林を味わうことが出来るんだと思います。



京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 高安 秀樹

長いような短いような慌しく何かと忙しい1年間だったというのが正直な感想です。今期の目標として10周年に向けてのメンバー増強があり、できるだけ例会にたくさんのゲストを呼びたいと思っていましたが、なかなか思うようにいかない状態でした。しかし、後半期からは皆が頑張ってくれて通常の例会やEMC例会等の各事業に多くのゲストさんに参加していただくことができ、数名は来期になりますが入会の予定になっております。

前半期の7月には祇園祭の清掃活動に協力をさせていただいていますが、今期は各クラブにも参加のお願いをいたしました。そのため多数の方がご参加下さいかなりの成果を上げることができました。これからも皆様には是非ともご協力をお願いして続けていきたいと思っております。

後半期早々の1月には数年来交流を続けております名古屋グランパスとの合同例会を行い、正式にDBCの締結に向けて進めることを決定いたしました。今年度の西日本区大会にて締結式と発表を行うこととなりました。当クラブも来期で10周年を迎えるため10周年記念例会実行委員会が動き出しました。最初は皆がどうして良いかわからず手探り状態で始まりましたが、9月の京都部会では中畝実行委員長が決意表明をするという事で壇上で頭を坊主にするという暴挙・・・いやいや、快挙にも出ました。その成果もあつた皆様方のご協力をいただき、紆余曲折もありましたが段取りのほうも順調に進みだしました。

残すところ引継だけとなりましたが、これからも東稜クラブの良いところを代々引き継いでいき、20年、30年と続くクラブにしていきたいと思っております。



今期を振り返る



京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 中村 隆司

今期2回目の会長をさせて頂き、まず思った事は前回同様あつと言う間に1年が過ぎ去ってしまったと言う事です。皆様お決りのセリフですがね。あれもしたいこれもしたいと言う気持は前回同様に、いや前回の教訓もありそれ以上にあったのですが、メンバー数が少ないと言う事もあり、決った事だけをメンバー全員でこなすのに精一杯と言う感じでした。でもチャーター以来ウェルのカラーであるYサを中心とした活動に関しては、府立医大病院コンサート、ソラシドキャンプ・ワーク等のサバエのプログラム、夜桜フェスタ・オータムフェスタ・ワーク等のリトセンのプログラム、チャリランやYMCA学園祭、ロビーコンサート、車いす駅伝、チャリティーコンサート、国際フェスティバル、リーダー卒業祝会など例年通りほぼ全ての事業並びにプログラム等をサポート出来たのではないかと思います。この様な状況なので中々ウェル独自の活動が出来ていないのが現状ですが、今期からファンドの一環としてレモンジュースファンドと言う活動を始めさせて頂きました。これはアメリカでアレックスと言う子が1歳の時に小児癌を患い、4歳の時に同じ癌を患う子供たちの為に募金を集めようとレモネード・スタンドを開き、病気に苦しみながらも頑張ったと言うお話に共感して始めさせて頂いたのですが、この子は残念ながら「もし人生がレモンをくれたら、レモネードを作っちゃえ」と言う言葉を残してこの世を去りました。我々もこのファンドで京都YMCAが行っている病気を持つ子供達への支援活動に資金援助が出来ればと思い、夜桜フェスタやオータムフェスタ、チャリラン等の野外の活動は勿論、一年を通しての継続事業としてレモンジュースファンドに取り組んでいます。また長年苦しんでいたメンバー増強に関しては、今期2月に1名の退会がありました。何とか2名の入会が決り、次期は少し明るい気持ちでスタート出来そうです。



京都ZEROワイズメンズクラブ

副会長 河村 栄二

私達ZEROクラブもチャーターして3年目となりました今季、会長不在のなか皆様の温かいご支援に支えていただきながらメンバーが力を合わせて活動して参りました。

7月のサバエワーク参加、今季のYサ事業として始めたサバエ日陰棚プロジェクトも年明け早々雪の中寂光院の材木切り出し作業から始まりようやく完成することが出来ました。8月はリトセン緊急ワーク参加、海水浴ファミリー泊例会開催、こぐま上野保育園夏祭り参加による地域奉仕、8月27日ハッピーアワークラブバースデー。9月には3名の新入会員を迎えることが出来ました。10月、北山陶板名画の庭にてグローバルコミュニティスタディーツアー支援の一環として【陶板名画の庭ショータイム】を開催しました。内外から沢山のお客様に入場して頂き多くの人々にお伝えすることが出来たと思います。10月20日九州部会の席にて阿蘇クラブさんとのDBC締結。11月、国際協力募金、春日野園保育祭り参加による地域奉仕、オータムフェスタでは石窯を使ったPIZZA作り。12月、クリスマスファミリー例会開催。1月、上京区の有名寺院閑臥庵にてTOBEクラブさんとの合同新年例会開催。2月、国際協力フェスティバル、車いす駅伝、京都部ボーリング大会参加。3月、ファミリースキー例会開催。4月、ノートルダム女学院での読み聞かせの会参加、夜桜フェスタではナンとカレー作り。5月、チャリティーランにて炒飯を提供させて頂きました。これからもZEROクラブメンバー全員で一つになり各事業に取り組んでいきますので今後とも宜しくお願いいたします。



京都部 2012～2013年度 活動報告

2012年

4月20日 Yサ・ユース懇談会
 6月11日 部PR委員会
 24日 リトセン夏季準備ワーク
 24日 第1回評議会
 7月 1日 サバエワーク
 6日 第1回役員会
 7日 メネット会長・連絡員懇談会
 8日 サバエワーク
 17日 部長公式訪問 京都キャピタルクラブ
 19日 部PR委員会
 20日 第1回ファン্ড懇談会
 25日 部長公式訪問 京都トゥービークラブ
 27日 第1回EMC懇談会
 8月 2日 部長公式訪問 京都ウイングクラブ
 3日 第2回部役員会
 13日 部長公式訪問 京都クラブ
 16日 部報第1報 (HP)
 18・19日 リトリートセンター豪雨災害復旧ワーク
 19日 青いそら白い雲キャンプ
 21日 部PR委員会
 22日 部長公式訪問 京都グローバルクラブ
 24日 地域奉仕・環境懇談会
 9月 2日 リトセン秋季準備ワーク
 7日 第3回部役員会
 9日 第2回部評議会
 京都部合同メネット会
 第17回京都部部会
 14日 広報懇談会
 18日 部PR委員会
 21日 第2回Yサ・ユース懇談会
 26日 部長公式訪問 京都バレスクラブ
 28日 交流懇談会
 10月 3日 部長公式訪問 京都プリンス・京都ウェルクラブ
 5日 第4回部役員会
 6・7日 第2回AIDS文化フォーラム
 9日 部長公式訪問 福知山クラブ
 11日 部長公式訪問 京都東稜クラブ
 13日 GCS支援イベント スクエアパーティー
 京都ZEROクラブ
 16日 部PR委員会
 22日 鴨川チャリティートーチウォーク
 23日 部長公式訪問 京都エイブルクラブ
 28日 京都ウイングクラブ25周年記念例会
 11月 2日 第5回部役員会
 3日 ワイズデー YMCA学園祭
 4日 京都YMCA国際協力街頭募金
 9日 IT交流会 広報事業
 16日 第2回EMC懇談会
 17日 婚活支援事業 京都ウエストクラブ
 22日 部長公式訪問 京都ウエストクラブ
 25日 オータムフェスタ
 30日 第3回Yサ・ユース懇談会

12月 7日 第6回部役員会
 17～21日 ロビーコンサート
 18日 部PR委員会
 21日 京都YMCA市民クリスマス

2013年

1月11日 第7回部役員会
 13～14日 西日本区次期役員研修会
 17日 部長公式訪問 京都センチュリークラブ
 18日 第2回ファンズ事業懇談会
 19日 京都洛中クラブ25周年記念例会
 25日 京都YMCAチャリティーコンサート
 2月 1日 第8回部役員会
 3日 京都YMCA 国際協力フェスティバル
 8日 ユース組織 第1回設立準備委員会
 9日 創立124周年記念会員集会
 10日 第3回部評議会
 17日 全国車椅子駅伝
 19日 部PR委員会
 24日 部CSチャリティーボウリング
 3月 1日 第9回部役員会(現・次期合同)
 3日 京都グローバルクラブ20周年記念例会
 6日 部報2号発行(印刷・HP)
 9～10日 次期会長・主査研修会
 10日 京都YMCA 卒業リーダー祝会
 17日 部チャリティーゴルフコンペ
 31日 京都みやびクラブ20周年記念 ユニカール大会
 4月 5日 第10回部役員会
 13日 大人と子どものための読み聞かせの会
 14日 京都センチュリークラブ設立25周年記念例会
 28日 YYYフォーラム
 夜桜フェスタ
 5月 8日 部長公式訪問 京都トップスクラブ
 10日 第11回部役員会
 18日 メネット会懇談会
 19日 かもがわチャリティーラン
 31日 交流委員長懇談会
 6月 7日 第12回部役員会(現・次期合同)
 16日 12～13年度 第4回部評議会
 22～23日 13～14年度 第1回部評議会
 西日本区大会 (名古屋)
 部報第3号発行 (HP)



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区



第18回 京都部部会



ワイズメン 全員集合!! Let us join hands!



主役はあなたのクラブです!!



日 時 / 2013 年 9 月 1 日 (日曜日)
場 所 / ホテルグランビア京都 「源氏の間」
登録費 / 11,000 円 (メン) 10,000 円 (メネット)

「京都部合同メネット会」

場所: キャンパスプラザ4F 第3講義室
11:30 受付 12:00 開始

登録受付	15:00	開会	16:00
第1部	式典		16:00~
第2部	懇親会		17:50~

Host: Y'smens Club of Kyoto West